

誕生、『大館ふるさと会』

ふるさと大館の応援団発足

首都圏に住んでいる大館市出身の皆さんを中心とした親睦団体「大館ふるさと会」が、十一月六日に結成されました。全電通労働会館（東京・神田）で開催された結成総会には三百三十人ほどが出席し、会則や役員などを決定。初代会長には竹村堅次氏（㊦）＝東京・太田区、東京武蔵野病院院長＝が選出されました。総会に引き続いて開かれた祝賀会では、大館曲げわっぱ太鼓などが披露される中、懐かしい顔を見つけては近況を話し合う光景がそこそこで見られました。

ふるさと会結成までの経緯

―平成5年に準備委員会―

大館ふるさと会が結成されることになったそもそものきっかけは、市企業誘致促進協議会が開催している、在京経済人懇談会の小委員会の席で出された提言でした。

▽小委員会のメンバーには、大館市内五高校すべてから入っていただくべきではないか

▽ここ何年かは大館市全体の振興・観光・物産が話題の中心となっていた感がある。市全体の振興策等を考えていくのであれば、むしろ「ふるさと会」を組織するべきではないか

などの提言を基に、市では平成五年二月、企業誘致促進協議会と市内五高校の在京同窓会との打ち合わせ会議を開催。その結果「企業誘致ということでは難しいと思うが、ふるさとを良くするための協力はできる。ふるさと大館の応援団づくりをしてはどうか」と、ふるさと会結成が提案されました。

それまでも、市議会や大館市選出の県議会議員の皆さんなどから、「ふるさと会をつくるべきではないか」という話が出されていたこともあって、五年十一月には五高校の在

